

(木曾町立日義小学校) 放課後子ども教室 「くすくす」

事業実施状況

担当課・係	木曾町教育委員会日義教育事務所	
主な活動場所	日義保健センター	
	エアコンの設置(有 無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	放課後午後3～6時
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日間、春休み13日間
帰宅方法	保護者迎え	
負担金	50円(おやつ代)	
登録者数	78人(一日平均25人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	5
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 宿題(宿題は子どもたちの意思で自主的に行う)
- 自由遊び(工作・折り紙・ぬり絵・公民館ホールでの遊び等)
- 長期休暇や振替休日等は開催時間も長いためイベントを企画
夏休みは流しそうめんやプラネタリウム観賞、交通安全教育、学習会などを実施
その他にクリスマス会、本の読み聞かせ、6年生のお別れ会などを実施予定

気づいたことや成果

- できなかった事ができるようになったり子どもたちの日々の成長を感じることができる
- 放課後の子どもたちの居場所として定着し、特に低学年の利用が増加している

課題や反省点

- ・スタッフの人員がぎりぎりであり、新しいスタッフの確保もできていないのでスタッフの確保が課題
- ・支援を必要とする児童などスタッフと児童の関わり方を学校と密に情報を共有することが必要

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇おやつが楽しみ
- ◇みんなで遊べるのが楽しい

〈保護者の声〉

- ◇放課後の子どもの居場所があり助かっている
- ◇宿題の面倒を見てくれるので助かる

(上松町立上松小学校)「きっこう」

事業実施状況

担当課・係	上松町教育委員会 子育て支援係	
主な活動場所	上松小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後3～5時
	土日	無
	長期休業	夏休み5日間、春休み5日間
帰宅方法	下校または保護者の迎え	
負担金	原則はなし (特別活動の時に実費負担)	
登録者数	103人(一日平均43人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	3
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	2
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	○

活動内容

- 月に1回 制作あそび(こいのぼり、七夕飾り、紙ひこうき、牛乳パックでおもちゃ作り、プラ板づくり、スライムづくり)
- 夏休みに特別活動で『宿題をやろう』…2日間
公民館の図書室と共催で『パネルシアターと錯視図形作り』…1日
調理実習『デコレーション寿司を作ろう』…1日 町の管理栄養士、食改善推進委員会の協力
ニュースポーツ『体を動かしてゲームを楽しもう』…1日 スポーツ推進委員の先生の協力
- クリスマス会…公民館森の寺子屋と共催

気づいたことや成果

- 体を動かして遊ぶことが好きな様子で、教室にいるより、校庭や体育館で遊ぶことが多い。
- 登録人数が多く、1～6年生までが共同生活しているので、異年齢の関わりがある。

課題や反省点

- ・体育館でバトミントンやボール遊びが、入れ替わりだったり、たくさんの友達がいると、片付けを他の友達になすりつけてしまいおそろかになってしまうところがある。
- ・たくさん集まる時には教室が狭いこともあったり、学年で入室時間が違うので、活動を計画するのに考える。
- ・スタッフの話聞きいれてもらえないことがある。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇工作が楽しい。
- ◇おりがみがいろいろ折れるようになって楽しい。
- ◇バトミントンをするのが楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇友達と一緒に過ごし宿題も済ませてくれるので、働く親としては、帰宅してからの時間に余裕があつていい。
- ◇特別活動で子どもが楽しみな活動をしてくれるので喜んで参加している。

(南木曾町立南木曾小学校)「なぎそっこ」

事業実施状況

担当課・係	南木曾町教育委員会 子どもすくすく係	
主な活動場所	南木曾小学校敷地内建屋	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後15:30～18:30(6限時) ※学校下校時間に準じて変動あり
	土日	—
	長期休業	夏休み15日間、春休み13日間 程度
帰宅方法	保護者の迎えによる	
負担金	年間登録料5,000円	
登録者数	87人(一日平均25～30人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	0
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	1
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

活動内容

【平日】

- 自主学习
- 自由活動(体育館・校庭遊び トランプ・ボードゲーム・イラスト・読書・ごっこ遊び・折り紙 等々...)

【長期休み】

- 自主学习 ○自由活動 ○DVD鑑賞 ○運動教室 ○人権教室 ○イラスト教室
- 町内施設見学(砂防堤・浄水場見学) ○川遊び

気づいたことや成果

- ・学習の時間や遊びの時間の区切りを、視覚的に示してあげると子どもたちに指示が入りやすい。(時計のイラストなどで)
- ・学習→自由活動の流れを、当初は学習に入るまでに時間がかかったが、日々の積み重ねで自主的にできるようになってきた。
- ・多学年の子と交流を持てる。

課題や反省点

- ・建屋に1フロアしかない為、(一部の)子どもが落ち着かず騒がしい場合、同じ空間を共有している他の児童(集中して学習などを行いたい児童)の迷惑となっていることがある。
- ・サポーター人員の関係で、サポーターの目が行き届かないところで子ども同士のトラブルになっているケースもあるため、体制や意識に改善・工夫が必要。
- ・長期休みの利用人数が多く、イベントの企画や日々の過ごし方に悩むことがある。イベントを楽しめる子とそうでない子がいるため、配慮が必要。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇教室が騒がしく学習などに集中できない。
- ◇一部の児童が遊び道具を独占してしまう。
- ◇ちょっかいを出してくる子がいて行きたくないと思うこともある。
- ◇イベント等があって楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇低利用料で利用させていただき助かっている。
- ◇子どもに落ち着きがなく周りの子に迷惑をかけていないか心配。

(王滝村立王滝小学校)「王滝村放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	王滝村教育委員会	
主な活動場所	王滝村公民館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	月曜日～金曜日 放課後午後3～5時30分
	土日	—
	長期休業	夏休み9日間、春休み9日間
帰宅方法	徒歩または保護者が送迎	
負担金	無	
登録者数	20人(一日平均9人参加) ※当村では登録制度は行っていない。 公民館来館児童全員を子ども教室の 対象としている	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	0
ボランティア	2		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ		学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型		その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

【平日の活動】

◇宿題及び学習、読書活動

→ 公民館へ来館した児童は宿題を行うよう指導

◇ボール遊び、運動、社会体育(陸上・バドミントン)

→ TVゲームやコンピューターゲームは一切禁止
月・木(水)は社会体育活動に参加する児童あり

◇郷土食等のおやつづくり

→ 地域のボランティアの指導により王滝村の伝統郷土食やおやつ作りを時折実践

【休日(長期休暇)の活動】

◇宿題及び学習、読書活動

→ 公民館へ来館した児童は宿題を行うよう指導

◇村内及び周辺町村への散策活動

→ 身近な地域を子どものうちから知ること、地域を愛する子どもを育てます

気づいたことや成果

○上級生と下級生の交わりから生まれる成長

: ボールを使った運動や製作活動を通じ異学年の子どもたちが自分たちでルールを決め、工夫をして活動する姿が見られるようになりました

『社会で生きる力の育成』を今後も図っていきます

課題や反省点

▲生活習慣に関する指導

: 整理整頓、活動サポーターの注意をしっかりと聞くなど基本的な生活習慣における指導を行っていく

▲スタッフの研修機会の充実化

: 「子どもの見守り」から「次世代育成」へスタッフの研修機会を確保していきたい

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

○お友だちとたくさん遊べて楽しかった

○手作りおやつは最高に美味しかった

○スタッフの方が勉強を教えてくれて嬉しかった

〈保護者の声〉

○平日など仕事で不在になる時間に様々な体験活動ができてありがたい

▲より長い時間、子どもを預かっていただけるとありがたい

→ 当村では「親子での時間」を大切にしていきたい、今後も保護者の皆さんとの対話を通じてより良い家庭教育支援を検討していきます

(大桑村立大桑小学校)「みちくさ」

事業実施状況

担当課・係	大桑村教育委員会 子育て支援係	
主な活動場所	大桑小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	全校児童	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後16:00～18:30
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日間、春休み9日間 7:30～18:30
帰宅方法	保護者迎え	
負担金	3,000円(スポーツ保険料込)	
登録者数	53人(一日平均12人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	6
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

活動内容

- 児童の自由な遊び、自主学习の見守り
- 地域ボランティアによる卓球教室の開催
- 長期休業:クッキング、工作、散策、DVD上映会の開催

気づいたことや成果

- 高学年が低学年の面倒をみるなど、上級生の自覚が生まれ縦のつながりができている
- 学校職員も一緒に遊んでくれたり、安全管理員打合せ会議に教頭に出席依頼し、学校と連携を密にしている

課題や反省点

- ・安全管理員の人材確保
- ・子どもの社会性・自主性を育てる内容の活動

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇卓球が楽しみ
- ◇イベントで公園へ遊びに行ったのが楽しかった

〈保護者の声〉

- ◇共働きなので、長期休業や平日遅くまで預かってもらえてありがたい
- ◇同年齢だけでなく異年齢との交流ができてよい
- ◇宿題を済ませてくれるので助かる

(松本市立奈川小学校)「奈川小学校放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	松本市役所 こども育成課児童担当	
主な活動場所	奈川文化センター夢の森 和室、図書室、ホール	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	授業日 放課後午後3時～5時45分
	土日	なし
	長期休業	夏休み5日間
帰宅方法	スクールバス、保護者による送迎	
負担金	スポーツ保険料 800円/年	
登録者数	16人(一日平均7人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	3	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

活動内容

- ・和室
 - 学校の宿題をみる学習支援
 - 折り紙をはじめとする簡単な工作
 - オセロ・将棋・チェスなどの自由遊び 等
- ・図書室
 - 読書
 - ビデオ鑑賞 等
- ・ホール
 - バドミントン
 - ボール遊び 等

気づいたことや成果

- 地域に児童館、児童センターがなく、放課後の居場所が放課後子ども教室のみのため、地域にとってなくてはならない場所になっている。
- 平成29年度は、開催207日、延べ人数で1,871名の子どもたちが放課後子ども教室に参加している。

課題や反省点

- 下校時間変更の連絡がないなど、学校との連絡がうまくいかない部分があった。学校との連携をしっかりとっていきたい。
- 以前はできていた挨拶ができない子がいる。しっかりと指導したい。
- 宿題は大人が答えを教えるのではなく、自分の力で答えが出せるよう指導していくべき。

子ども・保護者の声

<こどもの声>

- ・難しい宿題もスタッフと一緒にやると解けるようになった。
- ・スタッフと一緒に遊べて楽しい。職員と友達になった。
- ・夏は部屋の中が暑い…。

<保護者から>

- ・職員の方に日々しっかりと対応していただき大変助かります。
- ・色々なイベントを考えていただき子ども達も楽しんでいました。
- ・長期の休み中のイベントは子ども達も大変楽しみにしています。

(塩尻市立吉田小学校)「吉田小コミスクゼミ」

事業実施状況

担当課・係	塩尻市教育委員会 教育総務課教育企画係	
主な活動場所	吉田地区公民館・吉田西防災 コミュニティセンター(2か所)	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	なし
	土日	なし
	長期休業	夏休み23日間、春休み3日間
帰宅方法	児童館の児童は児童館へ、そ の他は自宅へ	
負担金	なし	
登録者数	357人(一日平均56人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	
協働活動サポーター	10	特別支援サポーター	
ボランティア	47		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 吉田小における長期休業中の子どもの居場所づくりとして、吉田小コミュニティ・スクール(学校運営協議会+地域教育協議会)の中核的な活動として実施した。〈通称:吉田小コミスクゼミ〉
- 夏休みに行うコミスクゼミ(通称:吉田小夏ゼミ)は、夏休み初めから終わりまで土日を除く23日間、10講座を開設し実施した。〈夏休み帳支援、補習、松くい虫、食育、ちご鳥活用、吉田の民話、吉田の歴史、木育、子ども食堂、なんでも話し合い〉
- 丘中学校の生徒(13人+美術部生徒)や田川高校生徒(7名)、地域の大学生(1名)がボランティアで学習支援や他の活動の支援にあってくれた。
- 「信州子ども食堂」ともコラボし、3日間×2か所(同時)で開催。参加児童は自分たちで昼食を作り、みんなでおしゃべりしながらお昼を楽しんだ。
- 春休み実施の「春ゼミ」は、中学校に進学する6年生を対象に3日間実施。小学校で学ぶ範囲の補習を行う。

気づいたことや成果

- 本市吉田地区の最大の特色は人財の豊富さにある。その人的資源を活かし「子どもたちの居場所づくり」「子どもたちと地域の人とのつながりづくり」が進み始めた。
- 単発的ではなく連続して子どもたちと関わり合うことで地域の子どもの様子(良いところと課題)が見えてくる。
- 一番喜んだのは保護者と子どもたちであった。

課題や反省点

- ・もう少し早い段階から組織を固め、準備を進めていく必要がある。⇒「春ゼミ2018」と「夏ゼミ2019」に向け、すでに企画委員会を開催した(10月・11月)。
- ・学校職員やPTA(保護者)の理解・支援をもう少し高めたい。⇒企画委員会のメンバーとして入れ、核となって動いていただく。
- ・基本的なルール、社会性、人間性については家庭・学校でもしっかり身につけさせたい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇(夏休み帳)ボランティアの人が話しやすく、いろいろ聞くことができよかったです。
- ◇(補習)中学生が分かりやすく教えてくれてよかった。
- ◇(地域の歴史)吉田の歴史の質問を気軽に言えてしっかり聞いて返してくれた。知らないことがたくさん知れた。

〈保護者の声〉

- ◇(民話の紙芝居作り)友達と色塗りなど楽しめたようです。思いがけず市民タイムスに載って驚きましたが、良い思い出になりました。
- ◇(食育)アレルギーがあり参加を考えましたが、材料を吟味してくださり、おかげさまでおいしくいただけました。食器の片づけなどほめられたと喜んでおりました。関係者の皆さん、大変お世話になりました。

(安曇野市立堀金小学校)「堀金小わいわいランド」

事業実施状況

担当課・係	安曇野市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当	
主な活動場所	小学校体育館・校庭	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生までの希望者	
実施日等	平日	毎週水曜日 午後2時30分～4時20分
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	徒歩・迎え・児童館	
負担金	なし	
登録者数	164人(1日平均143人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	3	協働活動支援員	14
協働活動サポーター	0	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 毎週水曜日の午後実施している。
- 体育館に集合し、自分の名簿欄に○をして名札をつける。終了したら名簿にレ点をつけ名札を返す。
- 始めの会は班ごと整列し遊びの場所や注意事項を確認する。終わりの会は反省を行う。
- 自分で遊びを考え自分で遊ぶことを原則として、わいわいランドを行っている。
- 体育館では、バスケットボール、ドッジボール、バトミントン、縄跳び、フラフープ、鬼ごっこ、ターザンロープ、フリスビー等で遊んでいる。
- 体育館ステージでは、トランプ、囲碁、将棋、オセロ、チェス、紙工作、塗り絵等を行っている。
- 体育館横の廊下ではやりたい子だけ宿題をしている。(強制ではない)
- 校庭ではサッカー、鬼ごっこ、せせらぎでの水遊び、鉄棒やブランコ、シーソーなどの遊具で遊んでいる。
- 10月には整列班対抗ミニ運動会(伝言ゲーム、ボール渡しゲーム、スリッパ飛ばし)を行った。

気づいたことや成果

- 子どもたちは大変元気で遊びに参加している。
- わいわいランドは自分で遊びを決めて行うので、少しずつ自主性が育ってきている。
- 遊びに入りたい子が来た時、「いいよ」と言って遊びに入れてあげる子が多くなった。
- 一人でいる子が少なくなり、複数で遊んでいる。

課題や反省点

- ・遊びを色々変えるので、用具の片付けがうまくできないことがある。
- ・遊びに夢中になり、周りの子とぶつかってしまうことがあった。始めの会や終わりの会で話をしていきたい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇わいわいランドは色々なことができて楽しい。
- ◇わいわいランドは自分で好きな遊びができて楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇わいわいランドは楽しいと言って水曜日を楽しみにしています。
- ◇同じクラスの子が半数入っていて、わいわいランドに入りたいと言われ、途中から入会することにしました。
- ◇スタッフさんが見守ってくれて安心です。

(麻績村立麻績小学校)「おみっこ元気くらぶ」

事業実施状況

担当課・係	麻績村教育委員会 教育委員会	
主な活動場所	麻績小学校体育館や校庭など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎月2回程度 水曜日 放課後午後3時半～4時
	土日	なし
	長期休業	夏休み3日間、春休み1日間
帰宅方法	保護者による送迎	
負担金		
登録者数	67人	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア	教育委員会・公民館	5

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	-
	学校支援			学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	-	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 今年度は17回実施予定 毎月1～2回程度の実施 水曜日の放課後15時半から16時まで実施
- 内容はミニゲーム、体づくり、工作、ニュースポーツの4項目で展開
- ミニゲーム(自己紹介ゲーム・鬼ごっこなど)
体づくり(走り方教室・ウォーキングサッカー・ベースボール型ゲームなど)
工作(カレンダーづくり・ランプシェードづくりなど)
ニュースポーツ(スポーツリバーシ・ダーツ・ボーリングなど)

気づいたことや成果

- 株式会社ポアルース長野フットサルクラブと連携し、外部講師を招いてのウォーキングサッカー教室を開催することができた。

課題や反省点

- ・ 学生ボランティアの協力を得ることができるが、1回の時間が30分と短く、そのために遠くから来てもらうのは心苦しい。
- ・ 児童の基礎体力の低下が著しく、遊びを通して様々な運動を取り入れていくことが重要課題。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇ 学校が終わってから遊べるので楽しい。
- ◇ やったことのないこスポーツ(ウォーキングサッカー)ができたりするのでおもしろい。

〈保護者の声〉

- ◇ 毎回の放課後子ども教室を子供はとでも楽しみにしています。信州大学の学生ボランティアが来てもらえるときには特に張り切って活動しました。
- ◇ 異学年との交流があり、上の学年の子は、下の学年の子の面倒をよく見てくれてありがたいです。また、下の学年の子は憧れをもってお兄さんやお姉さんを見えています。

**(生坂村立生坂小学校)「のびのびスクール」
マラソンクラブ**

事業実施状況



担当課・係	生坂村教育委員会	
主な活動場所	児童館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	偶数月第3火曜・奇数月第3金曜 放課後午後4～5時
	土日	-
	長期休業	※春休みにラン&ウォーク
帰宅方法	クラブ:迎え、一般:徒歩・迎え	
負担金	なし	
登録者数	登録なし (一日平均10人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	-
ボランティア	5		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

活動内容

○1・2年生には、4・5月に走る勉強会で走り方等の基本を指導。
 ○月1回の教室で、低学年・高学年に分かれ児童館周辺の農道を走る。
 ○年間の目標を決め、走った距離をグラフ化。目標達成者には、コーチお手製のメダルと賞がもらえるので、子ども達も頑張れる。
 ○春休みに、村内に設定したマラソンコースを走る「ラン&ウォーク」があり、毎年地元のボランティアの方が、コースの要所々で子どもランナーを見守り、声援を送っている。

気づいたことや成果

○当初は長距離を走ることになれておらず、思い切り走ったり、疲れて歩いたりする子が多かったが、回を重ねるにつれ、一定のスピードで歩くことなく走り続けることができる子が多くなってきた。

課題や反省点

○陽が早くおちる冬場は、夏よりも早く終わらせなければならぬため、高学年の部は走る時間が短くなってしまった。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉
 ◇走るのが楽しい
 ◇学校のマラソン大会で順位が上がってうれしい

〈保護者の声〉
 ◇時間があれば私も走りたい！

(池田町立池田小学校)「いけっこクラブ」
(池田町立会染小学校)「そめっこクラブ」

事業実施状況

担当課・係	池田町教育委員会 教育保育課学校総務係	
主な活動場所	教育会館・多目的研修センター	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校2～6年生	
実施日等	平日	15:20から17:30のうち 1時間を2回
	土日	
	長期休業	
帰宅方法	保護者	
負担金	なし	
登録者数	29人(一日平均6人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	学習活動の特徴	自主学习	
	学校支援		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	その他の連携	保護者	
	プログラム型		他団体、組織	

活動内容

- 池田小学校と会染小学校の2年生から6年生の中で、大勢の中では集中が途切れやすく、落ち着いて学習ができない児童や、学習の定着がゆっくりで個別学習や小集団での学習が必要な児童に、1回1時間(1日2回)学習支援を行う。
- いけっこクラブ(池田小学校児童) 教育会館で月・火の15:20-16:20と16:30-17:30
- そめっこクラブ(会染小学校児童) 多目的研修センターで水・木・金の15:20-16:20と16:30-17:30
学習内容は、宿題、復習、学習帳などで、学習の後にゲームなども行う。

気づいたことや成果

- 勉強に意欲が出るなど、良い結果が得られている。
- 事業の継続や、回数を増やしてほしいなどの要望があり、好評である。
- 高学年になるにつれ、自主学习ができたり、時間いっぱい学習する児童が増えた。

課題や反省点

- ・希望する児童は多いが、全てに対応できない。(増加する希望者にどう対応したら良いか。)
- ・書字障害などLDといわれる児童にあった学習方法。
- ・集中できる環境(机の配置など)を工夫したい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇わからない事を教えてもらいわかるようになった。宿題や勉強が楽しくなった。
- ◇あいさつができるようになったり、学年のちがう友達とお話ができるようになった。
- ◇学校で発言ができるようになった。

〈保護者の声〉

- ◇楽しく学習できている。◇宿題など終わらせて帰るので、家庭でのいろいろがスムーズにできるようになった。
- ◇積極的に出ていく子ではないが、このクラブには休まず参加できてうれしく思う。

松川村立松川小学校

事業実施状況



担当課・係	松川村教育委員会 子育て応援課子育て応援係	
主な活動場所	松川小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後3～6時
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日(H30年度)
帰宅方法	徒歩、お迎え	
負担金	登録料年間3,000円(1年生は 2,400円)	
登録者数	250人(平均利用人数約70名)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	0	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	7	特別支援サポーター	1
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

子どもたちが放課後等に、安心・安全な活動ができる居場所の提供をします。自主的に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行います。

遊び・・・室内、体育館、公園を利用して自由に自分たちの遊びをします。遊ぶ道具等も用意しています。

学習・・・学習室を設け、学習アドバイザーが学習支援を行います。

体験活動

○**テーマ活動**・・・1日ひとつの体験活動を行っています。内容は工作、スポーツ、昔遊びなど様々。全学年が自由に参加できます。

○**継続体験活動**・・・1年間を通して毎週一回程度、継続して体験活動を行っています。3年生以上の希望者が登録をして参加します。H30年度は9つの活動を行っています。

行事・・・季節ごと等に、児童クラブと合同で行事を行います。

気づいたことや成果

- 放課後の居場所として、子ども教室・児童クラブ・子育て支援施設(未来センター)がある中で、過ごしたい場所を子どもや保護者が選択して過ごしている。
- 日々の遊びや行事の中で、異学年での交流が見られる。
- 卒業した子どもたちが、ボランティアやアルバイトとして戻り、子ども達と関われる居場所となっている。

課題や反省点

- ・スタッフの確保、質の向上
- ・話し合いの機会を多く持ち、スタッフ同士の共通理解を深めていく。
- ・集団生活の中で大切なことを根気強く伝えていく。
- ・利用者が多くなり、受け入れる子どもが多様化する中で、一人一人をどう受け入れていくか考えていく。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇また、何か料理などを作ったりすることがあれば参加したい。
- ◇夏休み中に高校生のお兄さんやお姉さんが遊んでくれて楽しかった。

〈保護者の声〉

- ◇行事でグループごと、学年の違う子どもたちと関わることができてよかった。
- ◇夏休みに、お弁当作りや火おこしのカレー作りを楽しんでいたようです。家でも自分で作ったものを作ってくれました。